



地引網体験に参加して

香川県立保健医療大学 看護学科2年 鎌田 麻歩

私は6月と10月の2回、地引網に参加させていただきました。普段車椅子を利用して生活している方を含めた、様々な世代の方々と関わることができ、とても貴重な経験になりました。1回目、2回目ともに自分たちが考えたレクリエーションでたくさんの人の笑顔を見ることができたことがとても嬉しかったです。

コロナ禍で人との関わりが少なかったですが、人の関わりやコミュニケーションの大切さを改めて感じました。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 間所 嘉

今回地引網の実習を通して障害を持つ人や子供との関わりを持つことができた。この経験が自分にあることで障害を持つ人への偏見が無くなりそれを他の人に広めることができ社会全体での偏見が無くなることに繋げることができると思う。

またボランティアの高校生との連携は将来医療の現場での協力という面で役に立つことだと思う。また2回目の地引網では自分の捌いたお魚を皆さんに食べてもらうことができて嬉しかったと共にさっきまで生きていたお魚を食べて命を頂くという経験をしてもらうことができてよかったです。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 岩本 弥優

今回の地引網体験では、レクリエーションの計画立案から実行まで自分たちで行ったため、皆さんに楽しんでいただけるのを心から嬉しかったです。予定通りに上手く進行することはできなかったかもしれません、参加してくださった皆さんの協力のおかげで、楽しい時間を共有することができたと思います。

ありがとうございました！また機会があれば参加したいです！



香川県立保健医療大学 看護学科2年 佐々木 駿斗

地引網2回を通して、さまざまなことを学べた。一つは、障害の持った方や年齢層が様々な人と関わったことだ。普段過ごしていく中でなかなかこのような方は関わることができないので、看護師になるものとして活かせるような体験ができたと考える。また、高校生のボランティアにどういう風に手伝ってもらおうか指示を出すことも普段の生活では体験できないことなので良い体験ができたと思う。また機会があれば参加したい。



香川県立保健医療大学 看護科2年 佐藤 葵

今回地引網体験にボランティアとして参加させていただき、現場での対応力について多くのことを学びました。大学での打ち合わせを重ね自分達の中で用意して臨んだつもりでも、実際イベントが始まると思つた通りには行かず、臨機応変な対応が必要となることが多かったです。準備力だけでなく対応力やリスクアセスメントが重要であることはこれから的人生でも同じことであると感じ、今回身を持って気づくことができたことはとても意味のあったことだと思います。さらに普段一人暮らしの自分にとって様々な世代の方と関わることはとても充実した1日を過ごすことができ、私自身の健康にもつながったと感じた。



地引網体験に参加して

香川県立保健医療大学 看護学科2年 清川 彩夏

地引網体験を通して、子どもから大人まで幅広い年齢層の方や障がいの有無に関係なく様々な方々と交流することができました。今までの自分では、そのような方々とコミュニケーションをとったり、関わったりする機会が少なく、ボランティア活動自体にもあまり積極的に参加することはなかったのですが、今回のボランティア活動でボランティア活動やさらスポーツの活動に興味を持つことができました。今後も、機会があれば参加していきたいと思います。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 西山 唯人

私は今回の地引き網体験活動とレクリエーション活動を通して、地域での活動に参加でき、様々な人々と関わることができた。私自身も地引き網は初めての経験で、漁師以外の人にとってはとても貴重な体験をすることができた。また、自分たちで何を実施するかや役割を打ち合わせで何度も話し合ったことも印象に残っている。本番でも各々が自分の役割を果たしていくため、大きなトラブルなく開催できたと感じている。来年度もし機会があれば参加したい。

香川県立保健医療大学 看護学科2年 大崎 葉乃

先日は地引網体験のボランティアに参加させて頂きありがとうございました。前回の地引網ボランティアには参加できなかったので、今回が初めての参加でした。

子どもから高齢者、障害を持った方やそうでない方など、普段なかなか交流することのない人たちとお話をしたり、触れ合ったりして、自分の中で新しい発見がいくつもありました。

昨今はコロナウイルスの影響で、人と交流することも難しくなっていましたが、今回この地引網体験を通じて、誰かと触れ合う喜びを改めて感じることができたように思います。また機会があれば是非参加させていただきたいです。この度は本当にありがとうございました。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 谷尻 渉

今回地引網体験会のボランティアを行って、様々な人たちと関わりを持つことが出来ました。それによって自分たちのことだけではなく、これは車椅子に乗っている人達にできるのだろうかなど視野を広げて行動することができるようになったと感じました。

また、参加者さんに感想などを聞いても楽しかったというふうに言ってくれていてとても嬉しかったです。また、参加者さんの朝の顔などを見ていると、このイベントをとても楽しみにしているのだろうなと言うのが分かりました。また次なにかのイベントがあつたら参加したいなと感じました。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 中村 航太

初めて地引網という活動に体験させていただき、自分にとって大きな学びがあった貴重な体験となったと考えています。まず、今回の様な活動の中でリーダーとして中心となって話し合いを進める難しさを学びました。異なる意見をそれぞれ大切にして、擦り合わせていくためにどのように話し合っていくかが難しかったです。しかし、その中でも仲間と協力して得た経験や思い出は一生のものだと感じます。ありがとうございました。



香川県立保健医療大学 看護学科2年 直井 美樹

6月と10月の2回に渡って開催された地引網体験だが、参加者の皆さんと一緒に私自身も楽しむことができたと感じる。開催するにあたってレクリエーションや運営についてなど、はじめて一から自分たちで作り上げるという貴重な体験もできた。様々な条件の中で考えることの大変さや、その場で柔軟に対応することがいかに重要な学びだと思った。

これから看護の現場に出た時も計画を実行し、その場で臨機応変に対応することが求められると思うので、今回の経験を今後に活かしていきたいと感じる。